

# としま館たより 令和2年度 第2号

令和2年7月下旬

時々

## 出張図書館、やっています！

月に2～3回、昇降口で出張図書館をしています。

翔陽高校図書館は、教室からも各職員室からも離れたところにあるため、生徒のみなさんや先生方に、少しでも新しい本を見てもらおう！と試んでいます。

いつやるかは決まっていません。朝読書が中断していたテスト明けや、新しい本がたくさん出たときなど、不定期に突然出没します。

出張図書館決行の日は、朝から夕方まで1日中、昇降口に置いてあります。

ブックカートの横に、その場で貸し出しができるように貸出票等置いてありますので、ぜひご利用ください。



## 返却期限の過ぎた本を持っている人は、返却をお願いします。

読み切っていないからまだ借りたいという方は（予約がなければ）延長しますので、カウンターまでお越しください。

## 夏休み特別貸出のお知らせ

夏休みに向けて、特別貸出をしています。

返却期限： 8月24日（月） 2学期始業式まで

貸出冊数： 無制限！！

いつもよりは短いけれども、それなりに長い夏休みです。朝読書ではなかなか読めない長編小説などに、挑戦してみませんか。



## 夏休みの開館日のお知らせ

夏休み中の、翔陽高校図書館の開館は、以下のとおりです。

開館日： 8月3日（月）～5日（水）

8月17日（月）～21日（金）

開館時間： 8：30～17：00

読書に、学習に、涼みに、どうぞご利用ください。



## 新しい本

今年度入った本です。これ以外にも、たくさん、あるよ！

『カレンの台所』（滝沢カレン著）

『なぜ僕は働くのか 君が幸せになるために考えてほしい大切なこと』（池上彰監修）

『アーモンド』（ソン・ウォンピョン著）

『十字架のカルテ』（知念実希人著）

『ツナグ 想い人の心得』（辻村深月著）

# これ、読みました！コーナー

紹介してくれた先生、分かるかな？ 答えは図書館で展示をしているから見に来て！

T先生

## 『82年生まれ、キム・ジョン』 チョ・ナムジョ／著

すべての世代に、男女問わず読んでほしい。高校生の息子にもぜひ読ませたい。女性として「～すべき」と知らず知らずのうちに思い込んで、当たり前と思っていることはないか、男性は「～すべき」と押しつけていることはないか。あらゆる差別や偏見について、自分自身の考え方を振り返るきっかけになる本。

(左とは違う) T先生

## 『マンガでわかる「日本絵画」のテーマ』 矢島新／監修、唐木みゆ／イラスト

絵をみるのは好きですか？「別に～」っていうあなた！何がどのように描かれているのか、知ってみると面白い！ということもよくあります。なんでも同じ。よく見てみると、よく考えてみると、みんなが知っているものや、興味が持てるものがそこにあるかもしれない。

S先生

## 『君たちはどう生きるか』 吉野源三郎／著

昭和初期の時代の内容ですが、生きることへのいろいろな事を感じ、考えさせられる本です。本文とは別に（おじさんのノート）という文面があり、その部分も心に入ってくるものでした。

ぜひ、高校生のみんなに一読してほしいです。

(左とは違う) S先生

## 『うちは精肉店』 本橋成一／著

読むべきところは、巻末インタビューとあとがきだろう。生き物の命をいただく（本書の内容）とか、排泄とか、病気とか老いとか死といった、絶対に避けられないそれらのことは、私たちの日常生活からきれいに遠ざけられている。そしてまるで私たちはクリーンに生きているかのように勘違いする。そして、私たちの生に不可欠な仕事をしている人を、差別してきた歴史がある。そのことを考えつつ、ぜひ！！読んで欲しい一冊です。考えよう、命のことや、差別のこと。

Y先生

## 『面白くて眠れなくなる植物学』 稲垣栄洋／著

かなり植物のことを知っているつもりでしたが、改めて植物の不思議さにふれることができました。

